

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンライフNISHIO		
○保護者評価実施期間	2025年9月1日		2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年9月1日		2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と少人数のグループ療育を基本とし、保護者様からのニーズに対し適宜対応した支援を提供している。	保護者様からのご要望に柔軟に対応するため、スタッフ間での情報共有に気をつけている。	保護者ニーズに合わせ、よりよい支援を提供するために必要に応じては、あえて少人数での療育を行っていききたい。(コミュニケーション面など対人スキル向上のため)
2	言語聴覚士、心理士、教育者、日本の保育士、教員免許、児童指導員など、有資格者のスタッフを配置し、多国籍の利用者様にも利用していただいている。	求人募集では有資格者を対象としている。各分野での有効な知識を共有すること、合わせて療育内容や利用者様への対応について意見交換を行うことで統一された支援が提供できている。	保護者様からのご期待に沿えるよう、有資格者の獲得に注力したい。
3	利用者様へ様々な経験の提供の場として、運動、制作などイベントと共に、季節や母国の行事を感じ取れるイベントにも力を入れており、ご家族で参加も可能です。	各イベントでは、他児童とのふれあいや遊びの中での協力によるコミュニケーションの強化、適切な集団行動の意識が育つような支援を心がけている。	親子のふれあいや、支援方法を実際に見ながらお伝えできるようなイベントが企画していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービス提供が一部の場所のみで、限定されている	支援に注力しており、送迎業務に配置する人員も不足している	送迎要員確保の検討したい
2	事業所が建物の二階にあり、バリアフリーに対応できていない。	賃貸物件のため、スロープやエレベーターの設置は難しい	階段の視認性や安全性を高められるようにしたい
3	個別での療育の提供をしていることもあり、同時間帯の受け入れ人数によっては利用者様の集中できるスペースが確保しにくい場面がある。	支援室のエリアが決まっており、これ以上の拡大ができない	利用者様の障がい特性、安全面、その日の心理状況も考慮し支援室の割り振りを行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンライフ NISHIO

公表日 2025年12月1日

利用児童数 29

回収数 19

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0		・支援室の要なる確保、広さの拡充を行うのは物理的に難しいですが、個々の障がい特性・安全面に配慮し、支援を行っています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	0	1		・療育内容に応じ、配置は今後も適切に行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていませんか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	2		・事業所が二階にあり、貨物物のためエレベーターやロープの設備が難しいです。階段の視認性や安全性を高められるよう工夫したいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0		・清掃時に使用する薬剤には留意し、事業所内の清潔に配慮していきます。活動内容に応じて支援室を変更などの配慮をしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0		・有資格者を配置し、専門知識や支援内容の共有を行っています。スタッフ全員が保護者様のニーズに沿った支援を行えるように高めれています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0		・公表している支援プログラムに加え、個別に保護者様のニーズに合わせたプログラムの提供で支援させていたいております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		・支援スタッフの連携を介して、保護者様や本人様のニーズや課題、お困りごとを聞き取り、個別支援計画の作成に努めております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	1		・個別支援計画書の記載の内容を適宜、更新しております。目標や支援内容など、分かりやすさに留意していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	もう少し言語セラピストが必要	・モニタリングから計画作成、実際の支援とスタッフと児童が一体となって取り組ませて頂いております。有資格者による支援が拡充出来るよう奮闘致します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	0		・本人様のその日の様子も含め課題の考慮をしています。スタッフの固定化させないよう留意し、様々な活動を通して発達を促していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	0	2	10	いづ交流するか知っている	・現状は機会が少ないです。地域の児童館を利用することや多文化共生フェスティバルなどのイベントなど、地域のこども達との関わりも強化して行きたいと思っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		・ご契約時、ご不明点などをお伺いすると合わせ、丁寧な説明を心がけてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		・計画書の内容のご説明は、保護者様へ分かりやすく説明を行うよう心がけております。ご不明点やご意見をしっかりと伺い出来るよう、努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	1	10	親とセラピストの面談がほしい	・スタッフの支援の様子を見てご家庭での支援の参考に頂けるような時間や、ご家族前で楽しめるようなイベントのような機会を設け、ご家族支援にも力を入れてまいります。保護者様のご意向に添えるよう、必要に応じ面談の機会も検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0	アドバイスがほしい	・支援の内容だけでなく、学校やご家庭での様子や心配事などのお話を伺うなど、情報共有を回っています。お子様の繊細なことで共有出来るよう更にコミュニケーションを深めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3	2	0	もっと知りたい	・保護者様のニーズに沿って行っております。保護者様の負担が少しでも軽減されるよう全スタッフで意見を出し合っております。必要に応じ面談の機会も検討して参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		・フィードバックの際に保護者様からのお話を聞きながら、よりよい支援について検討しております。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	0	2	5		・ご家族参加も可能なイベントを用意し、スタッフの支援を見て頂く機会や、ご家族と一緒に楽しんでいただける機会を設けております。今後もこのような機会多く持ち、ご家族支援にも力を入れてまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	2		・保護者様からのニーズに対しては個別に対応をさせて頂いております。今後は利用者様全員にサービスの周知を行い、より多くの方の相談に乗ることが出来るよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0		・言語面での心配のあるご利用者様や保護者様にも対応できるよう通訳が出来るスタッフを配置しております。翻訳アプリを使用しながら、明確な情報伝達出来るよう努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	4		・支援の様子やイベントの様子など事業所情報はInstagramをメインに使用し、定期的に配信しております。自己評価等についても、ホームページへの貼りしを行うことでお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1		・契約時に個人情報の承諾書を保護者様にいただいた上で、取り扱いには十分に注意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	0	0	14	覚えていない、分からない。	・事業所内にはマニュアルを策定し設置しておりますが、利用者様全員に訓練の実施ができていないのが現状です。今後は全員に訓練が実施できるよう努め、保護者様にも引き渡しの訓練などのご協力をお願いしていきたいと思っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1	1	15	決まった曜日利用だけで、どんなものか分からない。	・定期的に避難訓練を行っておりますが、利用者様全員に訓練の実施ができていないのが現状です。今後は全員に訓練が実施できるよう努め、保護者様にも引き渡しの訓練などのご協力をお願いしていきたいと思っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	7		・衛生管理、災害時、事故発生時などマニュアルの作成はあるものの、保護者への周知は曖昧でした。保護者様のご不安が減るよう、説明に注力してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	4		・事故発生時は必ず保護者に状況とケガの様子などを説明しております。また事故報告書やヒヤリハット報告書などの記載も行い、再発防止・抑止に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0		・利用開始当初は泣いてしまう児童も見られますが、日を遡うことに笑顔で通所でき、スタッフとのコミュニケーションも増えているようです。今後もより深く信頼関係を築き安心して通所して頂けるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	0		・通所を楽しみにして頂けるよう、ご利用者様のニーズも取り入れながら、支援内容・イベント等を工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0		・市外のご家族にもたくさんご利用いただいております。ご家族様のニーズに丁寧に対応し、支援にご満足していただけるよう、今後もチーム一丸となりサポートしてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワンライフ NISHIO				公表日	2025年12月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		ほとんどの時間、はい。 一部の時間帯は部屋を分割する必要がある。 時間によると部屋を分けてスペースは少し狭くなると思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		バリアフリー対応ではない。建物上難しい点もある。物理的な制限がある。読書用資料としても使用できるよう、より多くのスペースを指定できます。ただ私たちは障害のある人々を差別してはいけない。(階段)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	スペースを分割することで改善できます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		時々そう、時々そうではない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	常に意見交換のできる環境である。	時々そう、時々そうではない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		外部評価を受けているかが分からない。 今後行うことも検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	研修が頻繁に予定されている。 一ヶ月に一回研修を行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	スタッフ各自の意見を取り入れるようにしている。 グループでは常にコミュニケーションが取られている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		より構造化された会議を設定することで、改善される可能性がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	必要に応じて対応している。 主に管理部門で運営されている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		児童発達センターとの連携は行っており、助言は頂いているが言語の問題で共有が足りていない部分もあった。 資料を用いて周知を徹底したい。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		今後検討したい。 交流する機会はありませんが、存在することは知っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	研修ではないが機会を設けている。	保護者向けの講演や研修があれば、家庭にとって大変有益になると思います。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者のみの交流の場はないが、保護者も参加できるイベントを設け、交流の場を提供している。	家族で楽しめるイベントをもっと計画していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	情報には十分注意。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		マニュアルはあるが、日本語のみの表記のためポルトガル語でのマニュアルも検討していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	アセスメントの記入、更新をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	アレルギーの把握はしている。	食べ物の提供時には、アレルギーの再確認を行い、配慮していきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	外部講師を招き、研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			